令和８年10月29日
令和８年度第３回医薬品等安全対策部会
資料１－２（別添２）

別添２．薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業（公益財団法人日本医療機能評価機構）での検索結果

事例区分：　旧様式では「医薬品の販売」、新様式では「一般用医薬品等の販売に関する事例」

キーワード：　ロキソニン、ロキソプロフェン（いずれかを含む）

報告期間：　2009年4月 ～ 2026年5月

	報告年月	使用者の年齢	使用者の性別	一般用医薬品等_販売名	製造販売業者名	事例の内容	事例の詳細	背景・要因	薬局における改善策
1	2019/2月（旧様式）	80歳代	女	ロキソニンＳプレミアム	第一三共ヘルスケア	第一類医薬品	「歯痛に対し、ＯＴＣで買ったロキソニンは１回２錠飲むのか」と聞かれ、１錠でよいと伝えたが、患者が持っていたものはロキソニンＳプレミアムであった。本剤は、１回２錠が標準用量であった。	ＯＴＣのロキソニンは、同Ｓのほか、同Ｓプラス、同Ｓプレミアムと３種類ある。前２者は１錠が６０ｍｇ含有に対し、プレミアムは２錠で６０ｍｇであった。配合剤であることは承知していたが、含有量の違いまで把握できていなかった。当薬局で以前販売したのは、ロキソニンＳであったが、ドラッグストアで同Ｓプレミアムを購入していた。	ＯＴＣについては、改めて手元にある薬剤の商品名を詳細に確認する。メーカーは、すべてロキソプロフェンナトリウムについて、同一用量とする。
2	2019/9月（旧様式）	50歳代	女	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	第一類医薬品	内科を受診して来局いる際に、お薬手帳にて整形外科でロキソプロフェンNa錠を服用していることを確認。ＯＴＣの痛み止めでロキソニン錠の購入を希望されたので、服用者を確認。本人が服用するということだったので、整形外科で処方されているロキソプロフェンＮａと同一であることを説明。痛みの症状が改善しない様であれば整形の再受診を推奨。了承して今回ＯＴＣのロキソニン錠の販売は中止。	患者本人が疼痛のコントロール不良で、整形で鎮痛剤を服用しているのにもかかわらず、受診の手間を考えて市販薬で対応しようとしていた為起こったと考えられます。	市販薬を購入する際に使用する人物、併用薬の有無の十分な確認が必要。
3	2019/11月（旧様式）	40歳代	男	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	第一類医薬品	市販薬のロキソプロフェンの購入希望で来局されたが、整形外科からロキソニンが継続で処方されており服用されている患者さまだった。患者本人は薬の名前が違うため飲んでも問題ないと購入しようとしていたため効能が同じものであり過量服用となってしまう可能性があったため販売はしなかった。	一般用医薬品も後発の商品が増えており、患者から見ると同じものと分からない可能性がある。今回は当局に来局している方だったため事前に発見することができた。一般用医薬品の販売であっても服用薬の確認を怠ってはいけないと感じた。	
4	2020/9/1	８０歳代	男性	ロキソニン ｓ	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	腰が痛い為鎮痛の内服薬が欲しいと来局された。現在の服薬状況を患者本人に聞き服薬している薬が無い事を確認しロキソニン ｓ をすすめた。服用方法等説明し最後に一度病院を受診する事をすすめた所、腰の痛みで病院を受診していることがわかり、ロキソプロフェン(60)と貼付薬も処方してもらっていたことも判明したので販売を中止し、かかりつけの医師に相談するように伝えた。	・前から二日続けて同じ薬を求めて来局することが度々あり軽度の認知症の気があった。・耳が聞こえにくいようで大きい声ではっきり伝えないと聞こえない日がある。	・患者とのコミュニケーションをもっとしっかりとる。・できる限りお薬手帳を持参してもらう。
5	2020/10/1	４０歳代	男性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	歯痛により来局。ロキソニンを求めて来局。歯医者に通院しており、抗生剤３日分と痛み止め６回分の頓用を貰っていた。頓用はロキソプロフェンであったが痛みがひどく、４～６時間ごとに服用していた。１日半で頓用がなくなったため購入を希望	お薬をもらった時に頓用は１日何回との指導がなかった。予約が１週間後であったために痛みを予約まで我慢しようとしたため。	ロキソプロフェンは、添付文書上では１日３錠（１８０ｍｇ）まで服用可能ですが、現実的ではないと思われる。このケースでは、当事者に歯科へ連絡を入れて、受診日を早めてもらうようするなどの提案が必要あると思われる。その上で販売する。また、歯痛の時には入浴・飲酒を控えるなど疼痛がひどくならない日常での指導も必要。
6	2020/10/1	７０歳代	男性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	処方箋でロキソプロフェン錠が処方されているのに、それに気が付かずお買い求めに来店された。販売指導の際、お薬手帳を持参しているとの事で確認。ジェネリック名のため本人も気付かなかったとの事。	成分名と販売名の相違	1類販売時は処方薬のチェックもかかさない
7	2020/12/1	４０歳代	男性	ロキソプロフェン錠「クニヒロ」	皇漢堂製薬	受診勧奨	ロキソニンを置いていないか？との相談あり。話を伺っていく中で１日頻回服用の過量服用の疑いがあったため、今回購入はお断りさせていただく旨、そして症状について医師に相談するよう指導した。	患者様も薬局も時間にゆとりがあったため、様々な確認が出来て回避出来た事例だが、お互いに時間がとることが難しくとも、確認すべき事項は必ず確認することの大切さを改めて理解できた。	第一類医薬品を取り扱う際の注意事項の徹底ならびに医薬品を取り扱うことの重責の再確認を行った。

8	2021/2/1	６０歳代	女性	ロキソプロフェン錠「クニヒロ」	皇漢堂製薬（株）	医療用医薬品との重複	頭痛があるためロキソプロフェンが欲しいと来局、お薬手帳内にロキソニン錠60ｍｇ服用中と確認が取れ過量回避	痛みが出たらロキソニンが一番効果があると患者本人の申し出より持参のお薬手帳を確認、来局時点でロキソニン錠60ｍｇ3錠分３で服用中の為、これ以上のロキソプロフェン服用は過量と判断、販売は拒否し。頭痛がひどいようであれば受診する様に勧奨を行った。	引き続き処方薬と一般医薬品の併用を確認する
9	2021/2/1	２０歳代	女性	ロキソニン	第一三共ヘルスケア	現病歴・既往歴	胃潰瘍の病歴があることを確認。現在病院ではロキソプロフェンをもらっているから服用してもいいはずというが、病院にも連絡がつかない時間のため販売を断った。	患者の言い分を信用はしたいけど、胃潰瘍の病歴からまだ1年半ぐらいしか経過していない状況では。	今後も販売に関して、胃潰瘍や喘息などの病歴は確認後に販売。病院に連絡が付く場合は、本人の同意を得てから病院に確認作業を行い、その後販売を医師の判断に従うようにする。
10	2021/4/1	６０歳代	女性	ロキソニンＳタイレノールA	第一三共ヘルスケア 東亜薬品	現病歴・既往歴	「整形の疾患は改善してきて、今後OTCに切り替える予定だが、ロキソプロフェンが喘息に良くないと聞いたことがあるので、どの薬を服用したらよいか聞きたい」との相談。喘息患者の解熱鎮痛剤の服用においては、アセトアミノフェンが安全性がより高いので、商品名をお知らせした。服用後、喘息悪化が見られたら中止、また効き目がよくないなど不都合があれば再度相談して頂くようにお伝えした。	喘息の治療をしているが、整形にかかっていてロキソプロフェンを服用していた。喘息の悪化は見られず、Drは併用薬をご存じだった。	喘息患者への解熱鎮痛剤や総合感冒薬の販売においては十分注意が必要である。
11	2021/5/1	３０歳代	女性	コルゲンコーワ鎮痛解熱LXα	興和	不適切な医薬品の選択	以前ロキソニンでアレルギー症状が出た方がコルゲンを購入。購入後すぐにロキソプロフェン含有製剤であることにきづき服用を回避した。	一般用医薬品販売時における薬剤師の聞き取り不足	OTC販売時のアレルギー歴、副作用歴の聞き取りの徹底
12	2021/5/1	８０歳代	女性	ロキソニンＳプレミアム	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	日ごろから整形、内科にかかっておられて腰痛がある為にロキソプロフェンナトリウムを処方されているにもかかわらず、ＯＴＣのロキソニンを買おうとなさったので、薬が重複するからよくない旨をお伝えして買うのはやめて頂いた。	自分の持っている薬が何かを患者自身が認識できていなかった。	ＯＴＣを販売する時は必ず服用されている薬を確認する。（来られている患者さんは薬歴を必ず見る）
13	2021/8/1	９０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	ロキソニンSを購入希望で来局。販売時確認シートの記載を求めたところ、来局者は代理人で使用者は当薬局の患者であることがわかった。処方薬を確認しロキソプロフェン錠を２錠/day服用中で併用すると用量オーバーになる可能性あり。高齢の為、胃腸障害・腎機能障害のリスクも勘案し販売を中止した。	代理人だったため、患者の服用薬を詳しく把握していなかった。また患者が高齢の為ジェネリックのロキソプロフェン錠がロキソニン錠と同一の薬品であると理解できていなかった。	販売確認シートで確認時に、しっかり聞き取りを行う必要がある。
14	2021/9/1	６０歳代	女性	ロキソニンS錠	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	歯の治療後の帰宅中に歯痛がでてきたためドラッグストアで相談しロキソニンS錠を購入したと来局。　当患者さんは平素より内科にかかり頭痛にロキソニン細粒と他２剤を混合した散剤を服用中でありロキソプロフェンナトリウムとして重複していることが判明した。	剤型が異なることで同一の薬効成分の薬とはわからなかったこと。ドラッグストアで服用中の薬を伝えてなかったこと。歯痛で受診中の担当歯科医に相談しなかったこと。	スイッチOTCの存在とドラッグストアでもお薬手帳を持参して提示することを啓蒙していく。
15	2021/9/1	５０歳代	男性	ロキソプロフェン錠「JG」	長生堂製薬	医療用医薬品との重複	医療用医薬品でロキソニン内服されている方。名前が違う痛み止めでロキソプロフェン錠60ｍｇを購入されようとした。	内服されている薬剤確認し、同じ薬剤であることを説明。重複服用できない旨を説明し重複服用を避けた。	服薬している薬剤の確認を怠らない。
16	2021/10/1	４０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	頭痛ありロキソニンS購入希望の患者様来局。販売時の聞き取りにより整形外科受診中とヒアリング。お薬手帳確認したところロキソプロフェン毎食後で処方ありと発見。成分重複になるため非推奨と説明。継続した頭痛があるのであれば受診を推奨。	患者様はロキソニンとロキソプロフェンをどう成分だとは思っていなかった様子。しっかりと併用薬や病態を確認できていたため重複にならず防げた事例。	一類医薬品要指導医薬品にかかわらず医薬品購入時や処方箋受付時は思い込み等にとらわれずしっかりと確認を行う。
17	2021/11/1	６０歳代	男性	ロキソプロフェン「クニヒロ」	皇漢堂製薬	受診勧奨	痛風発作をロキソプロフェンのみでの対応を継続することで痛風から腎臓の機能が悪化することを説明し受診勧奨しました。	前回健康診断では尿酸値9%超。痛みのたびにロキソニンのみで対応していたとのこと。受診勧奨の結果痛風発作の疑いありのため血液検査を実施。高尿酸血症における腎機能悪化を早期に抑止することで、健康寿命の延伸につながったと考えられる。	痛みの部位や症状の強さから受診勧奨がしっかりできるような環境づくりを心掛ける。

18	2021/12/1	７０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	頭痛がするといってＯＴＣのロキソニンＳを求めにきた方に定期でロキソプロフェンが処方されていることに最初気が付かず販売しようとしてしまった。お薬手帳を持参され、確認がとれたため重複になると販売を控えさせてもらった。	話に夢中で手順を誤った。	まず最初に手帳の提出を求めるべきだった。
19	2022/9/1	５０歳代	女性	ロキソプロフェン錠「クニヒロ」	皇漢堂製薬	医療用医薬品との重複	頭痛がするためロキソニンまたはそのジェネリック医薬品を購入しに来局された。	お薬手帳を持参していたため確認し、整形外科よりNSAIDsが定期処方されていることを発見。	一般用医薬品を購入希望の方も可能な限りお薬手帳を確認させてもらうよう周知。
20	2022/11/1	３０歳代	女性	ロキソニンＳ	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との相互作用	定期的に炭酸リチウム錠を含む処方箋を持参する使用者が、歯痛のために市販薬のロキソニンＳを購入しに来た。当事者１が販売の説明を開始したところ、数日前に処方薬を監査・投薬した当事者２が炭酸リチウム錠とロキソプロフェンが併用注意である事に気づき、声をかけた。使用者はロキソニンＳの購入を中止し、歯科医院を受診する事になったので、歯科医に炭酸リチウム錠を含む服用中の薬を伝えるよう指導した。	ロキソニンＳを購入しに来た使用者が、すぐに併用注意である炭酸リチウム錠を服用している事に気づけなかった。	お薬手帳のない市販薬の購入者に対しては、先に氏名を聞き薬歴の有無を確認する事にした。また、炭酸リチウム錠の使用者一覧をすぐに確認できるように整備した。
21	2022/12/1	５０歳代	男性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	現病歴・既往歴	高齢女性が来局。息子が新型コロナに感染し、咽頭痛が強いためロキソニンSを購入してくるよう頼まれたとのこと。併用薬は不明だが、腎臓の病気で通院中とのことであり、アセトアミノフェン製剤の購入をお勧めし、ロキソプロフェン内服による腎障害悪化を回避できた。	代理人が購入される際は、服用される方の現病歴や併用薬の確認が必須。	今回は息子さんに連絡がつながらず、併用薬の確認まではできなかったが、併用薬の確認については電話対応もできることを伝える必要あり。
22	2023/3/1	７０歳代	男性	ロキソニンＳ	第一三共ヘルスケア	不適切な販売その他	頭痛で一般用医薬品をお求めになった患者にロキソニンＳをお勧めしたが、おくすり手帳をお持ちになっておらず、整形外科からロキソプロフェン錠を処方されていることが後から分かった事例	おくすり手帳がないためヒアリングを十分できずにロキソニンＳの説明に終始したところあとから「実は痛み止めももらっていたが大丈夫か」と患者本人より確認があり、事態が判明した。患者は重複服用しておらず、健康被害はなかった。ロキソニンＳとロキソプロフェン錠は同一成分のためどちらかを服用するよう説明した。	併用薬が確認できない場合、重複が疑われた場合には安易に販売せず、確認が行われてから販売するよう徹底する。
23	2023/6/1	８０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	コロナワクチン接種後の副反応による痛み、発熱を懸念してご家族の方が来局。ロキソニンSを購入希望であった。初めにお話を聞いたのは当局調剤事務であったが判断に迷い薬剤師に相談。お話を伺っている中で当日は接種者本人のお薬手帳を持参されていることが分かり拝見。定期的に整形外科を受診されている様子でロキソプロフェンとレバミピドを1日3回毎食後で服用していることが判明。普段から腰痛が酷く鎮痛剤はきちんと服用している感じであった。鎮痛剤の重複で今回の購入の必要性も低いと判断し事情を説明。ご家族の方も納得され購入することなく終わった。	ワクチン副反応の懸念から本人がご家族に相談した模様。ご本人も高齢で普段服用のロキソプロフェンがロキソニンと同一成分であることが分からない感じでもあった。ご自身で毎日服用している薬の理解も不十分という事も要因の1つに。ご家族とは言え、普段服用している薬の把握が出来ているとは限らず今回のお薬手帳の提示は判断の材料にも繋がったことで今後も丁寧な聞き取り、コミュニケーションが必要と思われる。	今回に限ったことでは無いが普段から服用しているOTC薬やサプリメント、通院歴など、細かい聞き取りが必要であると考える。お薬手帳もそのアイテムの1つであり、都度の持参の確認などを含めたコミュニケーションの必要性が重要であろう。
24	2023/11/1	７０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	頭痛・肩こりでロキソニンを求めて来局病院でも薬をもらっているがお薬手帳を持ち歩いていない併用薬確認できないがどうしても商品をもらって帰りたい一先ずお渡しするが帰って服用前にお薬手帳の内容を電話してもらうよう約束ロキソプロフェンナトリウムが３錠３×で処方されており重複投与になるため商品返品	医薬品を購入する為に薬局・薬店に行く場合でもお薬手帳を持ち歩くようにお伝えする	常にお薬手帳を持ち歩くように声かけ
25	2023/12/1	７０歳代	女性	ロキソニンＳプラス	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	整形外科受診の患者様。自局にて「ロキソプロフェン錠６０ｍｇ」を調剤してお渡し。その際に、市販でのロキソニン購入を求める。整形外科より同成分薬剤が処方出ていることをお伝えすると、追加で服用したい旨あり。ロキソプロフェン錠の過量服用になるため患者へ説明、購入を止める。	患者様は整形外科受診でのロキソプロフェンを服用しているが、痛みが改善せず追加服用を希望。痛み止めは何回飲んでも良いと思っている。薬剤服用に対しての認知不足であると判断。	患者様に現在の処方内容を再度説明、市販薬の販売を思い止ませる。症状が改善されない際はDrに相談する旨説明。
26	2024/1/1	７０歳代	女性	ロキソニンＳ	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	頭痛の訴えで銘柄指定で鎮痛剤の購入を希望ロキソニン錠の販売はせず、すでに服用中であることを説明	以前より肩痛、後頭部の痛みでロキソプロフェン錠を服用している患者希望で一包化されており、服用中の薬剤について理解できていなかった	頭痛に関してはかかりつけ医に相談をすすめる服用中の薬に関して再度説明市販薬を求めるときはお薬手帳を持参することを指導

27	2024/7/1	４０歳代	女性	ロキソニンSプラス	第一三共ヘルスケア	現病歴・既往歴	40歳代女性。お子様の処方箋をもって来局し、ご自身の頭痛症状軽減のためロキソニンSプラスを購入希望。既往歴等聴取していたところ、胃潰瘍の既往歴あり、ロキソプロフェンは潰瘍を再発する恐れがあるため販売を中止した。夏場に多い頭痛と仰っていたため、気温差による偏頭痛や緊張性頭痛の可能性、また脱水によっても頭痛が生じることがあることを説明し、症状が続くようなら医療機関を受診するよう促した。	胃潰瘍既往歴に対するロキソプロフェン服用の危険性の知識不足。	一般用医薬品に関しても、必ず併用薬や既往歴の聴取、禁忌・注意事項を確認してから販売する。
28	2024/10/1	５０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	女性が頭が痛いので一類医薬品のロキソニンS錠が欲しいと来局された。フロチャートに従ってお薬手帳を確認すると、整形外科で処方されたロキソプロフェンNa錠60ｍｇを服用中であることが分かった。ご本人は名前が違うから別のものだと思っていたらしい。名前は違うが成分が同じもので重複してしまうことを説明し今回は販売を見送った。	一類医薬品の販売手順に従ってお薬手帳を確認すると、整形外科で処方されたロキソプロフェンNa錠60ｍｇを服用中であることが分かった。患者はロキソプロフェンとロキソニンが別のものであると思っていた。	今後も適切な手順に従って一般用医薬品の販売に努めていきたい。
29	2024/10/1	５０歳代	男性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	一般用医薬品のロキソニンを歯痛にて購入希望あり。処方歴、現在服用中の薬剤を確認中お薬手帳を確認したところ腰痛にてロキソプロフェンナトリウム錠分3毎食後処方あり。直近も服用している情報確認。成分重複ある旨説明。購入なし。	患者様はロキソニンと、ロキソプロフェンは違う薬剤である認識があった。違う痛みではあるが成分自体は重複であり、過剰に摂取してしまう可能性があった。	毎回の確認事項の際にしっかりと現在服用している薬剤の聞き取りをおこなう。なにの痛みで服用したいのか、また、購入の意図などを確認もれずお客様患者様から聞き取りを行う。
30	2024/11/1	５０歳代	男性	ロキソニンS錠	第一三共ヘルスケア	不適切な医薬品の選択	患者は病院の処方でロキソプロフェン錠を服用中であったが、当薬局以外でもらっていたため気が付かず、聞き取りのみで判断しロキソニンS錠を売ってしまった。	患者は病院の処方でロキソプロフェン錠を服用中であったが、当薬局以外でもらっていたため気が付くのが遅れた。患者はロキソプロフェン錠とロキソニンS錠が同じ薬との認識がなかった。	お薬手帳をみせてもらう。聞き取りを強化する。
31	2024/12/1	３０歳代	男性	ロキソニン総合かぜ薬	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	ロキソニン総合かぜ薬購入のお客様、併用薬を確認したところ整形外科からロキソプロフェン錠60ｍｇ「トーワ」を処方され服薬中だった。ご説明の上、解熱鎮痛剤の入ってない風邪薬をご購入されていった。	整形外科の薬と感冒の薬が結びつかなかったご様子。	市販薬販売の際は併用薬について必ず確認する。
32	2025/7/1	６０歳代	男性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との相互作用	ロキソニンS錠を購入したい旨の相談を受けた。使用者は購入者ではなく家族であることを確認。併用薬についてお伺いしたところ、血糖を下げる薬を飲んでいることが判明。名称が分からないとのことだったので、電話をして確認してもらった。結果、グリメピリド錠（アマリール）を服用中とのことだった。ロキソニンS錠には注意書きの記載がないが、グリメピリド錠（アマリール）には併用注意として「ロキソプロフェン」の記載がある。（血糖降下作用増強の恐れ）そのことを伝えたところ、服用者本人は以前にも低血糖症状を起こしたことがあるため、医師に相談してから購入するかを決めることになった。	市販薬のロキソニンS錠には、血糖の薬に対する注意がない。	併用薬について、可能な限り確認を行う。
33	2025/8/1	６０歳代	男性	ロキソニンSプレミアム	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	ヘルスケア用品売り場で痛み止め（ロキソニンシリーズ）のご購入を希望され、念のためにお薬手帳にて常用薬を確認するとロキソプロフェンが最大量処方されていることを確認。お客様は疼痛がコントロールされていなかったこともあり、痛み止めが処方されていないものと勘違いした様子。内服状況について再度説明し、ロキソニンは販売せず。疼痛コントロール不良のため、まずは再診勧奨とした。	・お客様自身が現在の内服薬の状況を十分に把握されていなかった。	・ロキソニンのように販売機会が多いものであっても、お薬手帳などのツールを活用して併用薬や既往・治療状況の確認を徹底する。
34	2025/9/1	７０歳代	女性	ロキソニンSクイック	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	患者より、歯科にて治療中だが歯の痛みが出てきたため、市販薬のロキソニンＳクイックを購入したいとの申し出があった。薬歴を確認したところ、別の病院（内科）にてロキソプロフェン錠６０ｍｇが１日１錠、定期で処方されており、当薬局で調剤している事を確認した。どちらもロキソプロフェンNaと、成分が重複しているため別の痛み止め（アセトアミノフェン製剤）を勧めたがどうしてもロキソニンがいいとの事だった。内科から調剤されたものと、今回希望しているロキソニンＳクイックを同時に服用しないようにできるか確認したが、理解できない様子だった。適切な利用ができない可能性が高い事、また痛みが強いのであれば歯科への相談も必要と判断し、販売を見送った。	ロキソプロフェンＮａの成分が重複していること、また、高齢なこともありＮＳＡＩＤｓの使用が増えることは腎機能への影響や胃腸障害の心配がある。飲み方についての理解が得られなかった。歯科の治用から数日たって痛みが出てきたとの事なので、歯科への相談が必要な案件と判断した。	年齢、処方薬の有無等をお薬手帳や薬歴から確認する。使用法を理解しているかをしっかり確認し、販売の可否を判断する。

35	2025/10/1	８０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	U患者様は、月に1回の頻度でAクリニックに受診されている。内服薬を22種類処方されている。ある日、頭痛がするとのことで市販薬のロキソニンS錠を購入しに来局された。その時に腰痛や膝痛の持病があり、鎮痛剤をAクリニックで処方されていたように思い、念のため薬剤服用歴管理簿を確認した。案の定、頓服薬でロキソプロフェンNa錠60mgが頓服で処方されていた。患者様はお薬の名前が似ているけれども、異なる鎮痛薬だと思っていた様子。患者様には、Aクリニックで処方されている頓服薬の鎮痛剤とロキソニンS錠は同じ成分で頭痛にも効果があると説明した。ロキソニンS錠は販売せずに、手持ちの頓服薬のロキソプロフェンNa錠60mgを飲んで下さいと指導した。頭痛時に1回1錠、1日3回まで。一度飲んだら、6時間以上あけるようにと説明し、納得して帰宅された。	患者様は、Aクリニックの薬は「腰と膝の専用」の痛み止めと思われていた。そのため、頭痛薬を購入しに来局された。毎月来局される患者様で、その方の症状をある程度把握していたのでロキソニンS錠の販売に至らなかった。薬剤服用歴管理簿の内容においても充実して記載していたため、再確認しやすかった。	改善策はないが、毎月来局される患者様の症状を把握し、市販薬を販売する際は必ず薬剤服用歴管理簿のチェックも怠らないようにすることが大切であると痛感した。
36	2025/10/1	１００歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	受診勧奨	【プレアボイド概要】終末期医療（老衰）を受けている患者様のご家族より、OTC薬「ロキソニンS」（スイッチOTC医薬品）の購入希望があった。しかし、患者様は老衰により腎機能が低下した状態にあり、禁忌または慎重投与に該当する可能性が高かった。そのため、重篤な副作用発現のリスクを避けるため、OTC販売を見送り、処方元と情報共有を行った（結果として、老衰時の鎮痛薬の第一選択薬であるカロナールが保険処方された）。【患者背景】患者様は、103歳の女性であり、老衰による終末期医療の方針でケアが実施されている。骨粗鬆症、過活動膀胱、加齢に伴う臓器不全があり、これらの疾患に対する服薬治療が継続されていた。しかし、3月の入院時以降に拒薬や服薬困難が頻発したため、大幅な減薬が行われた。この処方内容の変更により、積極的な治療から終末期医療へと治療の方針が移行したものと判断した。また、退院前の4月21日時点において、eGFR：32であることを確認している。〈定期薬（入院前）〉・スピロノラクトン錠25mg ソリフェナシンコハク酸塩OD錠5mg イミダプリル塩酸塩錠2.5mg アルファカルシドール錠0.5μg　分1×朝食後・ファモチジンOD錠10mg　分1×夕食後・ベニジピン塩酸塩錠4mg フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg　分2×朝夕食後・テレミンソフト坐薬10mg　便秘時・カロナール錠200mg　疼痛時〈定期薬（入院後）〉・ノイロビタン配合錠イミダプリル塩酸塩錠2.5mg ラリキシンドライシロップ小児用20% 分1×朝食後・ケトプロフェンテープ20mg【相談内容】患者様のご家族より「最近は、食事はほとんどとらず定期薬も飲めるときのみ服用している。しかし、足の痛みの訴えが強い。入院前に貰っていた頓服のカロナール錠を服用していたが、ほとんどなくなってしまった。買い物のついでに病院に相談しようと思ったが、混んでいて時間がかかりそう。市販の「ロキソニンS」を購入したい。」との相談があった。 【対応】「ロキソニンS」はスイッチOTCであり、医療用医薬品と同等の注意をもって取り扱うが必要がある。ロキソニン（成分名：ロキソプロフェン）は、体内でプロスタグランジン（PG）の産生を阻害することにより、鎮痛・消炎作用を発揮する。その一方で、PGは、腎臓の血管を拡張させ、腎臓へ血流を維持する働きを持つ。そのため、ロキソプロフェンによりPGが抑制されると、腎血流量が減少し、腎機能が低下する可能性がある。これにより、腎機能障害の既往がある患者には注意が必要とされている。前述の通り、患者様はeGFR：32であり、腎機能の中度～高度低下が認められる。また、老衰による終末期では、腎機能は加齢、脱水、低栄養、循環器動態の低下などによりさらに低下しやすい。腎機能の負担が死亡へのきっかけとなることは珍しくない。一方、肝機能は比較的保たれることことが多いため、疼痛に対しては肝代謝型のカロナール(アセトアミノフェン)が第一選択であり、効果不十分であればトラマドールへ状況に応じて変更される。（終末期医療を考慮すれば、他のオピオイドが考慮される場合もある。）以上のことを踏まえて、「ロキソニンS」の販売を見送る判断を行った。「ロキソニンS」の購入相談日が、偶然にも病院が訪問看護日と重なったため、薬局より病院へ情報提供と相談を行う旨を説明し、ご家族様には一時帰宅を依頼した。その後、病院の地域連携室へ電話報告を行った。訪問看護師が状況確認を行い、医師の指示によりカロナール錠の処方が発行された。	患者様個別の状況について継続的な把握が行えていたため、「ロキソニンS」の販売を見送ったことにより、腎臓への負担を回避し患者様のQOL維持に貢献できた。今回、口頭による注意喚起はできた。しかし、購入者から視覚情報として服用の注意点が目につきにくかった。	購入者に分かりやすく伝えるため、ロキソニンSを陳列している場所に、服用時の注意点を掲示する。
37	2025/12/1	６０歳代	女性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	現在、病院からの処方で頭痛時用にロキソプロフェンが処方されていたが、膝の痛みに市販のロキソニンSを購入されていました。同じ成分である事に気付いておりませんでした	患者様、本人の理解力が衰えており、薬の箱にロキソプロフェン配合の記載があるにも関わらず気づけていませんでした	ロキソニン購入時に「ロキソニンまたはロキソプロフェンをのんでいますか」と間違いを発見しやすい質問をする

38	2025/12/1	５０歳代	男性	ロキソニンS	第一三共ヘルスケア	医療用医薬品との重複	頭痛で医薬品を購入しようと来局され、第一類医薬品のロキソニンSを販売しようと考えた。当医薬品の服用歴はあり、頭痛に効果があると考え販売しようとしたが医療機関よりロキソプロフェンが処方されていることが詳しい聞き取りの中で判明した。	OTC販売時には、訴えた症状や併用薬等、服用する本人の状況をしっかり把握したうえで販売しないといけないが、時に併用薬が分からなかったり、服用する本人の状態が詳しく聴き取れなかったりする。	販売時には症状をしっかり聞き取ることが大事であり、他科受診や併用薬の確認もしっかり行わなければならない。また、薬局に取りそろえている一般用医薬品だけですべての症状をカバーすることは難しいことも考え、必要であれば受診勧奨をするよう従業員に指導していく。
39	2026/2/26	４０歳代	男性	ロキソニンＰＲＯフィジカル	第一三共ヘルスケア（株）	第一類医薬品	腰の痛みを主訴に来局。胃腸障害を持つ方は使用できない旨の説明をしたところ先週まで胃潰瘍だったと返答あり。今はよくなっていても直近まで胃潰瘍があったのであれば再発の可能性があること説明。受診するか他の痛み止めを案内するか伺ったところ受診することとなった。	患者様の胃潰瘍およびロキソプロフェンへの理解不足があった。薬剤師のロキソプロフェンが消化性潰瘍へ与える影響への理解があり、販売時に確認したことが今回の事例に繋がった。	引き続き販売時の確認および消化性潰瘍の一般認知度を深める。

（注）公表事例に関する留意事項（日本医療機能評価機構HPより）

＜公表している事例について＞

・薬局から報告された事例に記載されている内容を公表しており、情報の正確性を保証するものではありません。

・報告された事例のテキスト情報に含まれていた個人や医療機関等が特定される情報は削除して公表しています。